

事業No.	事務事業名	街路事業費				担当部署	都市整備部		
175						課名	都市計画課		
						電話	52-7390		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	土木費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	都市計画費
	施策名(節)	第4節 地域をつなぐ道路網の整備						目	街路事業費
事業開始・終了年度		平成 7 年度 ~ 平成 一 年度							
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16 頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	道路利用者	総事業費(千円)	
意図(どのような状態に)	狭小な幅員と桁下高さの制限による慢性的な交通渋滞を解消するとともに、快適で安心して歩ける歩行空間の整備を行う。		財源内訳	
事業内容	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> (都)二口北野線の(主)高岡青井谷線との交差点~(主)富山高岡線との交差点までの延長946mの道路拡幅工事 (都)東老田高岡線 延長1,450mの景観整備工事 	国庫支出金	
			県支出金	
			市債	
			その他	
			一般財源	0

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
①	(都)二口北野線道路整備 ※延長は事業費ベースによる換算延長	m	58	60	60	100.0	149
②	(都)東老田高岡線景観整備 ※延長は、実施延長	m	150	158	158	100.0	-
③							

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
		<ul style="list-style-type: none"> (都)二口北野線道路整備工事負担金 (都)東老田高岡線景観整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> (都)二口北野線道路整備工事負担金 (都)東老田高岡線景観整備工事

事業費・人員	事業費	H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	90,322 千円	155,046 千円	71.7
	人件費	3,036 千円	1,632 千円	▲ 46.2	1,292 千円
	退職手当引当金相当額	440 千円	240 千円	▲ 45.5	190 千円
	事業コスト計	93,798 千円	156,918 千円	67.3	219,011 千円
財源内訳	国県支出金	0 千円	0 千円		0 千円
	その他	90,000 千円	146,500 千円	62.8	206,600 千円
	一般財源	3,798 千円	10,418 千円	174.3	12,411 千円
当該事務従事職員数		0.44 人	0.24 人	▲ 45.5	0.19 人

評価項目	点数	説明
妥当性	4	幹線道路ネットワークの形成等交通体系の整備を図るとともに、快適で安心して歩ける歩行空間の整備、高齢者等交通弱者にやさしい快適でうるおいのある道づくりのために必要な事業である。
有効性	4	(都)二口北野線整備事業の完成により、JR高架部付近の狭小な幅員と桁下高さの制限が解消され、慢性的な交通渋滞を解消し、円滑な交通を確保できることから、事業完了後に期待される効果は高い。
達成度	3	(都)二口北野線整備事業の当初計画では22年度の完成目標が25年度になる見込みであるが、JRより南側については約280mの道路改良工事が完成し、22年度からJR高架部のBOXカルバート工事に着手するなど順調に進捗している。
効率性	3	従事人員の配置としては適正であると判断されるが、他の公共工事と同様に契約方法の見直し等によるコスト低減に向けた工夫の余地がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	(都)二口北野線は、本市における重要な幹線道路であり、JR高架部付近で生じている慢性的な交通渋滞の解消のために一日も早い工事の完成が望まれており、本市重点事業としても要望している。今後も富山県と調整を図りながら、早期完成に向けて適切な事業の実施に努めることとしたい。

事業	事務事業名	市道新設改良費				担当部署	都市整備部		
177						課名	道路建設課		
						電話	52-7393		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	土木費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	道路橋梁費
	施策名(節)	第4節 地域をつなぐ道路網の整備						目	道路新設改良費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16 頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	市内全域における市道整備				総事業費(千円)	620,000
	意図(どのような状態に)	安心して快適な生活道路の整備を計画的に進める				財源内訳	
事業内容	手段(どのような方法で)	地元ニーズに適した道路整備を進める ・市道戸破1066号線外19路線(平成22年度整備予定)				国庫支出金	
						県支出金	
						市債	
						その他	
					一般財源	620,000	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	計画的な整備(事業投資)を実施する	千円	163727	124140	123581	99.5	137787

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
		市道片口55号線外26路線	市道海老江165号線外23路線

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		163,727 千円	123,581 千円	24.5	137,787 千円
	人件費		14,973 千円	14,824 千円	1.0	14,212 千円
	退職手当引当金相当額		2,170 千円	2,180 千円	0.5	2,090 千円
	事業コスト計		180,870 千円	140,585 千円	22.3	154,089 千円
	財源内訳					
	国庫支出金		5,650 千円	650 千円	88.5	千円
	その他		151,200 千円	113,400 千円	25.0	128,500 千円
一般財源		24,020 千円	26,535 千円	10.5	25,589 千円	
当該事務従事職員数			2.17 人	2.18 人	0.5	2.09 人

評価項目	点数	説明
妥当性	4	地元要望や地域状況を勘案し、道路の利便性の向上のため道路整備を行う。
有効性	4	地元要望や緊急性の高いものより、計画的に整備を進めている
達成度	3	地元要望や緊急性の高いものより整備することにより、目標に向けて順調に推移している
効率性	4	できる限り効率的な整備を進めることにより、コストの低減がされる

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	安全で安心して暮らせる道路整備を計画的に今後も進める

事業	事務事業名	県道改良費				担当部署	都市整備部	
178						課名	道路建設課	
						電話	52-7393	
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	一般会計	款	土木費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり					項	道路橋梁費
	施策名(節)	第4節 地域をつなぐ道路網の整備					目	道路新設改良費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度		
根拠法令・要綱等								
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16 頁	個別計画			

事業目的	対象(誰を・何を)	市内全域における県単独事業	総事業費(千円)	200,000
事業内容	意図(どのような状態に)	地元要望や地域ニーズに適應した県道の整備を計画的に進める	財源内訳	
	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> ・県単独道路改良事業の市負担金(10%) ・県単独雪寒対策施設費の市負担金(10%) ・市長が必要と認めた県事業への市負担金(その都度協議) 	国庫支出金	
			県支出金	
			市債	
			その他	
			一般財源	200,000

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	県土木との協議により県単独道路改良事業を実施	千円	12300	18800	18800	100.0	18344
	県土木との協議により県単雪寒対策施設費を実施	千円		1700	1700	100.0	1656
	県営ほ場整備事業串田地区 市道の道路側溝整備	千円	3325				

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
		県単独道路改良事業 12地区 県営ほ場整備事業 1地区	県単独道路改良事業 13地区 県単独雪寒対策施設費 1地区

事業費・人員	事業費	H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費	15,625 千円	20,500 千円	31.2	20,000 千円
人件費	759 千円	748 千円	1.4	748 千円	
退職手当引当金相当額	110 千円	110 千円	0.0	110 千円	
事業コスト計	16,494 千円	21,358 千円	29.5	20,858 千円	
財源内訳	国県支出金	千円	千円		千円
	その他	13,900 千円	18,400 千円	32.4	千円
	一般財源	2,594 千円	2,958 千円	14.0	20,858 千円
	当該事務従事職員数	0.11 人	0.11 人	0.0	0.11 人

評価項目	点数	説明
妥当性	4	地元要望や地域状況を勘案し、道路の利便性の向上のため道路整備を行っている
有効性	4	地元要望や緊急性の高いものより、計画的に整備を進めている。
達成度	3	地元要望や緊急性の高いものより整備することにより、目標に向けて順調に推移している
効率性	4	できる限り効率的な整備を進めることにより、コストの低減がされる

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	地元要望や緊急性を考慮し、計画的に事業を今後も進める。

事業	事務事業名	地方道路交付金事業費				担当部署	都市整備部		
179						課名	道路建設課		
						電話	52-7393		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	土木費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	道路橋梁費
	施策名(節)	第4節 地域をつなぐ道路網の整備						目	道路新設改良費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~		平成 - 年度			
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16 頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	幹線道路の整備	総事業費(千円)	1,858,000
事業内容	意図(どのような状態に)	交付金事業の活用により、地域間や公共施設等を結ぶ幹線市道の整備を行う(補助率55%)	財源内訳	
	手段(どのような方法で)	<ul style="list-style-type: none"> 市道松木作道線(H15~H20) H20完了 市道三ヶ34号線(H20~H25) L=1,120m 市道塚原47号線(H20~H25) L=700m 市道堀内土合線(H20~H25) L=880m 	国庫支出金	1,021,900
			県支出金	
			市債	
			その他	
			一般財源	836,100

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	計画的な整備(事業投資)を実施する	千円	132754	320358	320358	100.0	289295

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
		<ul style="list-style-type: none"> 市道松木作道線の整備(H20年度完了) 市道三ヶ34号線、市道塚原47号線、堀内土合線の新規着手 	<ul style="list-style-type: none"> 市道三ヶ34号線、市道塚原47号線、市道堀内土合線の整備促進

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	132,754 千円	320,358 千円	141.3	289,295 千円
	人件費	14,214 千円	14,076 千円	1.0	13,464 千円	
	退職手当引当金相当額	2,060 千円	2,070 千円	0.5	1,980 千円	
	事業コスト計	149,028 千円	336,504 千円	125.8	304,739 千円	
財源内訳	国庫支出金	76,857 千円	179,141 千円	133.1	157,272 千円	
	その他	59,700 千円	139,200 千円	133.2	125,300 千円	
	一般財源	12,471 千円	18,163 千円	45.6	22,167 千円	
	当該事務従事職員数	2.06 人	2.07 人	0.5	1.98 人	

評価項目	点数	説明
妥当性	4	利便性の向上のため、計画的に道路整備を行っている
有効性	4	緊急性の高いものより、計画的に整備を進めている
達成度	3	地元協議等を行い、目標に向けて順調に推移している
効率性	4	できる限り効率的な整備を進めることにより、コストの低減がされている

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	地域間や公共施設を結ぶ幹線市道の整備を、今後も計画的に進める。

事業	事務事業名	地方特定道路整備費				担当部署	都市整備部		
180						課名	道路建設課		
						電話	52-7393		
総合計画	施策の大綱	第4部 快適で安心して暮らせるまち			予算科目	会計	一般会計	款	土木費
	政策名(章)	第2章 快適で利便性の高いまちづくり						項	道路橋梁費
	施策名(節)	第4節 地域をつなぐ道路網の整備						目	道路新設改良費
事業開始・終了年度		平成 17 年度		~	平成 - 年度				
根拠法令・要綱等									
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	16 頁	個別計画				

事業目的	対象(誰を・何を)	市内全域における市道整備				総事業費(千円)	1,286,000
	意図(どのような状態に)	早急に整備を必要とする市道の整備を行う				財源内訳	
事業内容	手段(どのような方法で)	起債の活用により整備を実施(起債充当率90%) ・市道黒河548号線外16路線(平成22年度整備予定)				国庫支出金	
						県支出金	
						市債	1,157,400
						その他	
					一般財源	128,600	

活動指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度			H22年度目標
				目標	実績	達成率	
	計画的な整備(事業投資)を実施する	千円	294831	403670	401621	99.5	417830

整備内容	平成20年度	平成21年度	平成22年度(計画)
	市道本江1号線外16路線	市道黒河548号線外13路線	市道生源寺若林線外16路線

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	直接事業費		294,831 千円	401,621 千円	36.2	417,830 千円
	人件費		16,422 千円	16,320 千円	0.6	13,464 千円
	退職手当引当金相当額		2,380 千円	2,400 千円	0.8	1,980 千円
	事業コスト計		313,633 千円	420,341 千円	34.0	433,274 千円
	財源内訳					
	国県支出金		千円	千円		千円
	その他		298,600 千円	375,500 千円	25.8	376,000 千円
一般財源		15,033 千円	44,841 千円	198.3	57,274 千円	
当該事務従事職員数			2.38 人	2.40 人	0.8	1.98 人

評価項目	点数	説明
妥当性	4	地元要望や地域状況を勘案し、道路整備を行っている
有効性	4	地元要望や緊急性の高いものより、計画的に整備を進めている
達成度	3	地元要望や緊急性の高いものより整備することにより、目標に向けて順調に推移している
効率性	4	できる限り計画的な整備を進めることにより、効率的かつコストの低減が図られている

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	起債の活用により、地元要望や緊急性を考慮し計画的に事業を今後も進める。